

せんなん感染症情報 6月号

宮城県感染症発生動向調査 第19～22週より（令和2年5月4日～令和2年5月31日）

宮城県仙南保健所

仙南保健所管内の全数報告疾病

令和2年5月4日～令和2年5月31日

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1 類感染症：報告なし | |
| 2 類感染症：結核（患者確定例） | 男性 1 名 |
| 3 類感染症：報告なし | |
| 4 類感染症：E 型肝炎 | 男性 1 名 |
| 5 類感染症：加パ [△] 耐性腸内細菌感染症 | 男性 1 名 |

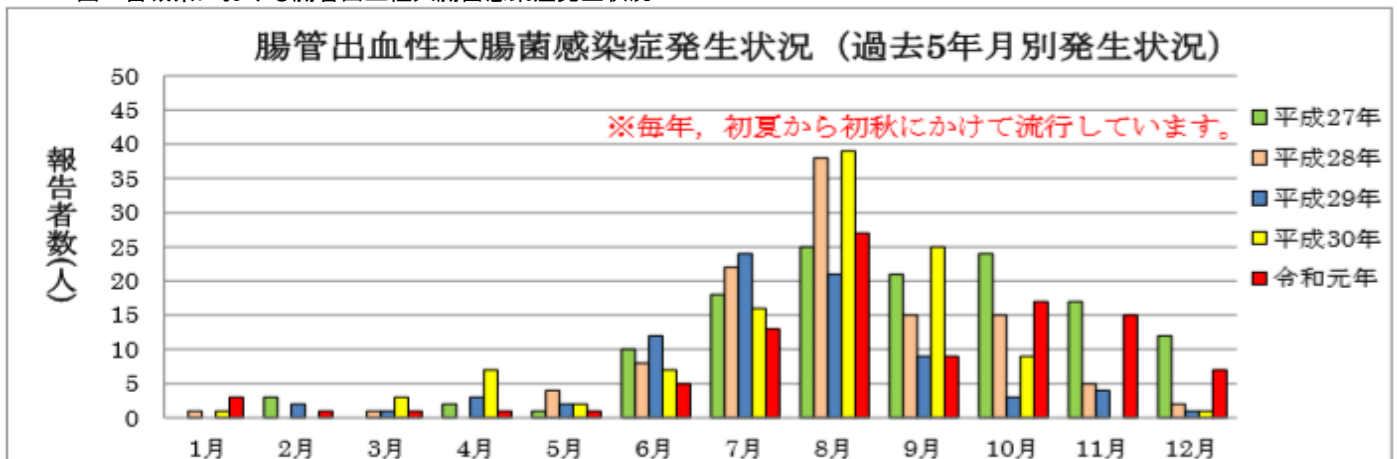
仙南保健所管内の感染症警報・注意報

第22週現在、仙南保健所管内で警報・注意報の発令はありません。

■ 腸管出血性大腸菌感染症とは

大腸菌は、家畜やヒトの腸内にも存在し、そのほとんどは害がありません。しかし、中にはヒトに下痢などの症状を引き起こす病原性大腸菌があります。病原性大腸菌には約170種類ありますが、そのうちペロ毒素（病原性大腸菌が産生する毒素タンパク質）を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症候群（HUS）を起こすものは「腸管出血性大腸菌」と呼ばれ、その代表的なものにO157、O26などがあります。

図 宮城県における腸管出血性大腸菌感染症発生状況



【潜伏期間】2～5日（最大12日）

【症状】激しい腹痛を伴う頻回の水様便、血便、発熱（37℃台が多い）。有症者の6～7%において、下痢などの初発症状発現の数日から2週間以内に、溶血性尿毒症候群（HUS：溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害）または脳症などの重篤な合併症を発症することがある。

【感染経路】汚染された食物を摂取することで感染するほか、便の中に排出された細菌を、手指や水などを介して摂取することで感染することがあります。感染力が非常に強く、少量の細菌を摂取するだけで感染します。

■ 腸管出血性大腸菌感染症にかからないために

- 1 トイレの後、食事の前、調理の前などに、石けんと流水で手をよく洗う。
- 2 食品は十分に洗い、中心までよく加熱する（75℃以上で1分以上加熱）。
- 3 調理器具（まな板・包丁・ふきんなど）は、その都度洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒する。
- 4 食品は冷蔵保存（10℃以下）する。時間が経ちすぎた食品は、思い切って捨てる。
- 5 下痢などの症状がある場合は、できるだけ浴槽に入らず、かけ湯かシャワーで済ませる。バスタオルや手ふきタオルは共有せず、個別のものを準備する。